

ひろば  
大代

平成五 1、5

大代公民館

新年明けまして

おめでとう

ございます。



公民館長 田辺 孝

一九九三年の輝かしい年頭にあたり  
新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は皆様方にお世話になりました。

コミュニティの拠点として、住民に  
よる住民のための公民館へと、皆様の  
尊いご協力とご尽力で予定通りの成果  
を挙げる事ができましたことを心か  
ら感謝申し上げます。

昨年の十二月の公民館報「ひろば大  
代」で、この一年を振り返って「平成  
四年大代町の動き。活力ある活性化に  
向かって」の主要の出来事をまとめ、  
お知らせしました。

私達はこれらの出来事を盛り上げな  
がら、触れ合いながら、また行動する  
ことによって、大代町の連帯感を深め  
活性化を計ってきました。

特に新年は、昨年の反省をもとに、  
新しい決意を持ち、人生に転機を与え  
る点において、大きな意義があるとい  
えましょう。そして、たくましい意欲  
で何事にも体当りするスタートでもあ  
ります。

私達一人一人が自己の内容の充実に  
つとめ、大代町に生きる、大代町を愛  
する、人と共にある事などを認識して  
すばらしい字お出合いを創り出した  
ものです。

特に公民館集會室の正面には、国旗  
と市旗を掲げています。更には、国の  
恩、親の恩、衆生の恩を感得しながら  
自己啓発、報恩感謝のことばの中に生  
き、豊かな人生を送って頂きたく呼び  
かけています。

心の芽を開くことによって、大代町  
は安らぎと潤いの町へと変身していく  
ことでしょう。

本年は更に公民館は、連合自治会、  
各種団体と連絡を密にしながら連携し  
進歩と調和が整えられるよう努めたい  
と願っています。

年頭に当り、より一層の御協力を  
願ひし、御一家のご多幸ご繁栄をお祈

り申し上げます。新年の御挨拶と致し  
ます。

新年を迎えて

連合自治会長 高村 貢



皆様明けましておめでとうございま  
す。良いお年をお迎えの事と思います。  
昨年はいろいろな事があって、皆様  
には大変ご迷惑をおかけし、又ご協力  
を有難うございました。

本年もいろいろな事があると思います  
が、話し合いの中で一歩一歩前進して  
行きたいと思っておりますので、変わ  
らずご協力の程、よろしくお願い致し  
ます。

ところで皆様の今年の初夢はいかが  
でしたか？

夢は大きく、それを少しづつでも実  
現させて行くことではありませんか。

いくら良い夢を持っていても、一人よ  
りは皆んなで、話し合ってやればきつ  
といい方向に実現して行くと思ひます。  
今年は一話し合いで前進をの合ひ  
言葉で頑張りましょう！  
よろしくお願ひ致します。

心身共に健康な

毎日を目指して

社協大代支部長 松井 幸



高齢化、情報化、国際化など、どこかで毎日の様に目につく社会現象の一つ、高齢化社会！

妙に関心が片寄るのも私の年齢が意識させるものと思います。

現代の様に医学や生活環境が向上し長寿を保つ事が出来るのは大変幸せな事ではありますが、その反面、寝たきりになったり、痴呆症の如き不幸な病が増加しているのも悲しい現実です。

周囲の人達に出来る限りの負担をかける心掛けと共に、自分自身が積極的に健康な体力を保つ努力をして、明るい環境づくりを目指して行く事が、当面の課題かと考えております。福祉の里へと今年も頑張ります。

おせち料理をいただいて

婦人会長 後藤マサエ

かずの子…数の多い子というところから子孫繁栄を願って

昆布巻…喜ぶにつなるとして慶事に

きんとん…黄金色が財をなすことから

だて巻…巻物(書巻)を表し文化の発

民を願う

たたきごぼう…ごぼうは地に根を生や

すようにと願いを込める

くわい…芽が出るので芽出たい。

田作り…ごまめはかたくち鰯の別名、

昔鰯を田の肥料にしたことから

田作りと呼ばれ五方米という字

をあてて豊作を願う

里芋…鶴の子とも言われ鶴のように長

寿であることを願う

れんこん…向う側を見通せる事から見

通しのよい年であるように願う

ゆり根…滋養のある食物とされ一年間

息災で暮らせるように願う。

黒豆…新しい年をまめ(健康)に暮ら

せるように願う等々。

家族お揃いでおせち料理をいただか

れたことでしょうか。言葉を味わって、

自分の健康は自分で守りましょう。

国が実施してくれるすべての検診に

進んで受診して下さい。

大田市の住民受診率は低く四一%、

高齢者(六〇才以上)に多い肺ガンを

自らの検診で防ぎましょう。



新しい年を迎えて

大代消防団長 竹本 謙

新しい年を迎え、大代消防分団員一同(五十八名)心より御祝詞を申し上げます。

昨年は町民の皆様様の御協力で大きな災害、火災も無く新年を迎える事が出来ました。今年も「火の用心」を合い言葉で防火予防に御協力下さい。

大代分団も大田市で初めて(消防団)消防ポンプ自動車を、昨年二月配置してもらい、更に十二月には防火水槽を一基作って頂きました。

今年協議の上、町民の皆様全員参加の合同防火訓練を行いたいと思っております。そして、今年消防器具の点検の年ですので、御協力の程よろしくお祈り致します。

生命財産を守るのが消防団員の仕事です。

「点検を重ねて築く火災ゼロ」

本年も無火災の年になりますようにお祈り致します。

酉年にあたって

八反田 長谷保孝

皆さん明けましておめでとうござい  
ます。

「今年はとり年ですね」と言われても  
十二人のうち十一人の方にとっては特  
別なんてことない年でしようけれども  
残る一人の方にとっては、何となく意  
義深い年であると感じておられるので  
はないかと思ひます。とか何とか言ひ  
ながら、実は私も、とり年の一人なの  
であります。

とり年といつてまず思ひ浮かぶのが  
中学校卒業以来、離ればなれになつて  
いる同窓生のことです。(戌年の方も  
おられますが…)私は縁あつて四年  
ほど前に、この大代の地に帰つて来ま  
したが、その後も数名の方が大田市内  
に帰つてきておられます。

昨年秋に、大田市近郊にいる同窓生  
七人が集まる機会がありました。都合  
で参加出来なかつた人を含めれば、約  
十人(同窓生の約三分の一)がこの近  
くで暮らしており、思ひのほか多いこ  
とに驚きました。さつそく今度のお盆

にでも同窓会をしようということ  
で、すぐに話がまとまりました。

地元には帰つたけれどあまり地元の  
ために役立っていない感じがするので  
このとり年を契機に近くににいる同窓生  
ともども何らかの形でお役に立てるよ  
う頑張りたいと思ひます。

とり年のぼく

本郷 日向高一



今年、ぼくの千支のとり年です。  
ぼくは、四月に中学校に入ります。

中学校になつて一番がんばりたいこ  
とは勉強です。中学校では初めて英語  
を習ひます。英語はむずかしそうなの  
で心配ですが、先生の話をよく聞いて  
一生けん命勉強すれば、ぼくでも理解  
できると思ひます。

二番目にがんばりたい事は、運動で  
す。運動はあまり得意じゃありません  
が、少しずつでもがんばつてみたいと  
思ひます。中学校に入つてがんばりた  
い運動は、今もやっています。バト  
ミントンをもつとやってみたいです。  
シャツルを思いきり打つと、遠くに飛

んでいきます。運動の得意じゃないほ  
くでも、まっすぐシャツルは飛んでい  
きます。まるで、ぼくがシャツルにな  
つて飛んでいるようで、気持ちがいい  
です。

三番目にがんばりたい事は、公民館  
の本をすべて読むことです。少しづつ  
借りて読んでいますが、まだ半分も読  
んでいません。中学校に行く、と中に  
あるので公民館が帰りに開いていたら  
本を一冊でも多く借りようと思ひます。  
中学校に入つたら、何があるかまだ  
はつきりわからないけれど、何事にも  
全力をつくしてがんばりたいと思ひま  
す。

自治会紹介

|| 正月の装い今昔 ||

植松(本渡)渡 吉正



「もう幾つ寝るとお正月、お正月には  
凧あげて独楽を廻して遊びましょう」  
こんな正月風景はもう大代町では見  
られなくなつてしまいました。

私の子供の頃(昭和二十年まで)の  
正月は三元日は五時頃に起床、神仏を

礼拝して家長（戸主）に新年のご挨拶をし、続いて両親や目上の人にご挨拶するとお年玉を頂き、やがて朱塗りのお椀でお屠蘇とお雑煮を年の数だけ祝って、学校の年賀式に出掛けました。

日章旗や門松飾りが並んだ町中を新雪を踏みしめて、今年こそは頑張るぞと新たな気概と希望に胸を膨らませて道行く人々と挨拶を交わして登校しました。学校で厳肅な式典が終了すると急いで帰宅、親戚への挨拶廻り（実はお年玉もらい）をし、帰ると一家団らんでお節料理を頂きました。

午後は八反田方面の田圃へ風上げに町角では独楽廻し、女の子は羽根突きに興じました。そして夜は歌留多とりや双六遊びに夜が更けるのも忘れて楽しんでました。

今の正月風景は町中はひっそりと静まり、日章旗もちらほら程度で、夜はテレビを観て就寝するという寝正月の家庭が多くなりました。

公民館は町の茶の間です。子供たちに全館開放して正月遊びを奨励したら如何なものでしょうか。大人と子供の対話が少なくなった今は、せめて正月

くらいは子供と遊び興じて、よい正月ムードを作って上げたらどうでしょう。現在の合理主義（虚礼廃止）から生まれた各自治会や公民館での挨拶交換会だけでは何か物足らなく淋しいものを感じます。

正月の装いはその年の活力に繋がります。正月らしく町を飾ったら、きつと活気のある町が再生します。



都市とふる里を結ぶコーナー  
新年のご挨拶

東京高山会会長 田中憲経

ご郷里のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、世界同時不況から立ち直れぬまま新年を迎えることとなりました。日本経済も二パーセントを割り込む異例の低成長に苦しんだばかりでなく、佐川国会と椰揄されるなど相も変わらぬ政治の混乱、不況進行にともなう犯罪や社会問題の増加、エイズ問題の深刻化など考えさせられる出来事の多い一年だったように思います。ひるがえって私も高山会周辺の出

来事を見ますと、昨年は特望久しかった関西高山会が、関係者のみなさまのご努力でめでたく発足をみました。東西の高山会総会に相互に会員が出席し交流するという年来の夢も現実のものとなりました。

ご郷里のみなさまの大変なご尽力で毎年催していただいておりますメインイベントの「都市と故郷を結ぶ交流会」への積極的な参加とあわせて、大代町出身者が活発な交流の輪を広げる場が郷里、東京、大阪の3極に整い充実してきたことは、まことにご同慶の至りに存じております。

今年の経済も急速な回復は望み薄と思われ、政治の面でも貿易摩擦をめぐるアメリカ新政権との軋轢、米市場解放問題、場合によっては解散総選挙も予想されるなど、非常に波乱含みとなっております。

しかし、いかなる事が起ころうとも山は青く、人情は濃やかな生まれ故郷を私たちは持っている、この誇りをエネルギーとして今年も頑張っていきたいと思っております。本年もよろしくお願い申し上げます。

新年のあいさつ

関西高山会事務局長 中本 弘

大代町の皆様、新年明けましておめでとございます。

関西高山会を代表してお祝いの詞を申し上げます。

去年はバブル経済が崩壊し、本当に額に汗を流し、知恵を絞って一所懸命に人生を生き続ける人が見直される本物の時代になりました。

正直者が、馬鹿をみない本来あるべき姿に世の中が移りつつあり、結果として好ましいと考えます。

さて、ご承知のとおり昨年三月二十二日に関西高山会が発足しました。

その際、大代高山会、東京石見高山会の方々には、ひとかたならぬ御支援、御協力を頂き盛大に総会を開くことが出来ましたことを、深く御礼を申し上げます。

第二回総会を本年四月十八日（日曜日）に開催を予定しております。

生まれ育った大江高山、大代町があることを誇りにし、総会を盛り上げてゆこうと役員一同決意を新たにしてお

ります。「もうかりまっか」と問えば「しわいががんばるけん」とお困なまりで答え、ふる里を共有する者同志、心のぬくもりを交換し合う場にしようではありませんか。

私共全員と大代町の皆さん、東京石見高山会の皆さん方が是非出席されませう事を心よりお待ちしております。

大代町の皆様方の平成五年が良い年である事をお祈りして新年の挨拶と致します。



歳末助け合い運動による

「愛の袋」集計配分報告

大田市社会福祉協議会大代支部長 年末の「愛の袋」運動には町内の皆さん方ごぞって温かいご理解とご協力を頂き本当に有難うございました。左記の通りご報告申し上げます。

現金 一一二、七六一円

市社協 一、四三五円

計 一一四、一九六円

お寄せ頂きましたお金は町内二八名の何かと恵まれない方々へ配分させて頂きました。改めてそのご厚意に対する感謝申し上げます。尚この配分取扱に

ついでには三名の民生委員の皆さんの御世話になりました。

1月の行事予定

◆10日（日）消防団出初式

◆15日（金）成人の日

小、中、一般対抗子供将棋大会

◆17日（日）大代町書き初め展

一般・小・中（準備は16日から）皆さんの出品を待っています。

◆17日（日）午前十時から小・中にて

幼・小・中・公合同家庭教育研修大会

講師 松江工専名誉教授

加納勇一先生（午後一時公民館）

演題「二十一世紀を拓く親と子」

◆17日（日）福祉弁当

◆29日（金）JA健康診断

——おしらせ——

◆公民館より

子供クリスマス会に社協支部長松井

幸様から炊き込み御飯のお米を寄付

頂きました。有難うございました。

◆社協大代支部から

大代婦人会 様

年末に社協大代支部へ金一封の御厚志を頂きました。有難うございました

特集II

「ふれあい市民

対話の集い」について



大代公民館

去る十一月十八日、午前九時三十分より二時間以上に亘り、恒例の「対話集会」が開かれ、町民多数参加の元に田辺館長の司会で次の様な対話が繰り展げられた。

1、大田桜江線早期着工

促進について

連合自治会長、高村寅氏が質問。

「祖式、大代間の着工計画は現在無いと聞くが行政の方で強く働き掛けて貰いたい」この質問に対して建設部長は「以前よりこの件については市の重点要望事項として県に提出しているが、県としては順次着工している。引き続き要望してゆく。」

2、大江高山登山道の整備と

ボーリングについて

大江高山開発10人委員会を代表して

笹木光夫氏が質問。

「大江高山には温泉源があることが判

明した。ボーリングの前段階の科学探査（電気探査）の費用百万円程を予算計上して貰いたい。近年登山者が多くなり、行政としても登山道の整備を考えてほしい。

●駐車場迄の道幅を拡げ、コンクリ舗装をしたい。

●急な道で石ころが落ちて来る様な所には木の丸太の階段を付けたい。

●登り易い様に手すりやロープを付けたい。

●途中で「休憩所」が2ヶ所位あり、そこへ看板を立てたい。

●昔から伝えられている太砲岩や屏風岩など珍しい所に看板を立てたい。

●登山者に分かり易い様に、小さなチラシを作って配りたい等の要望に対し、市長の答えは「高山の問題の前に先ず道路をやらねばならぬ。百万円の予算計上は来年度に考えてみたい。」

そして、経済部長の答えは「経済部

商工観光課で調査をしたい。一度現地を見て歩いて、新年度からでも出来る所からやりたい。」との事。

この高山問題の詳細については、大代

町明るい町づくり推進協議会、大江高山開発部会発行の冊子「大代町文化祭にご来場のみなさまへ」を参照の事。

3、大代公民館前に

看板標識を立ててほしい

横田美恵子氏が質問。教育長の答えは「十分に検討して4とも関連するのを実施したい。」

4、大代公民館前の

坂道拡張について

後藤マサエ氏が質問。「大型の胃ガン検診車が入らないので門の坂道を拡張してほしい」対して教育長の答えは「門柱の撤去を考えたい」

そして、建設部長の答えは「現在の坂道の位置を上コンクリートの柱の所に付け替えたい」

5、大代公民館炊事場

改造について

後藤マサエ氏が質問。「炊事場の排水改良の件、何年も前から言っているが改善されていない。」

教育長の答えは「事情はよく分かつ

ているので担当の者に見させて処理したい。」

#### 6、柿田自治会、

##### 上水道設置について



谷口俊美氏が質問。「柿田は戸数13戸だがこころう6年間に水が出にくくなって来た。特に夏は少ない。井戸や山から引いて、葬儀の時など市から水を貰っている。2キロ程離れているが町から水を引いて貰えないか。農業用のカン水があるが金気水である。」

水道局長の答えは「制度としては簡易水道は101人以上全家加入が条件で、集落排水は五千一人以上である。何か良い方法がないか、地元とも協議して考えてみたい。」

これに関連し、高村貢氏が「貯水タンクを拡大したらどうか。」と質問したが、水道局長は

「水がないと思うので無理ではないか。八反田の湧き水を利用しては、少なくとも来てので地下から汲み上げてはいる。」と答えた。

他に横手新治郎氏が「山村留学制度の早期実現について」質問した。

「昭和60年と平成2年の国勢調査を比較すると人口が、大代は7%減っている。町づくり町づくりと言われているが、町残しを考える時期にきている。草刈り等の集落の事業も出来なくなる心配がある。山村留学制度を実施して新しい風をもたらしたい。」

複式解消もその一つである。全国的には寮方式が増えて来ている」

教育長の答えは「先ず里親制度を考える。学力の低下を親は心配しているのではないか。」

大田市として具体的な動きはないが、一番手っとり早いのは、孫を引き受ける祖父母がおれば一番良い。寮制度は費用の問題等、中々難しい点がある。全国的な資料を集め、前向きに進めたい気持ちはある。」

続いて後藤マサエ氏が婦人会の役員会の意見として

(1)、大代に老人福祉センターを作してほしい

(2)、人工透析を受けて何年か先には有料になるのか。

(3)、交通安全の子供の人形を5ヶ頂きたい。

(4)、道路の白線が消えているので引いてほしい。

と要望したのに対し、民生部長の答えは「11月1日現在大代の高齢者人口は35.26%で大田市では最高になった。平成12年度迄にソフトも含めて三十三の事業をせねばならない。」

デイサービスセンターの設置は西部ブロック（大森、水上、祖式、大代）で一個所設ける。救急業務は消防の組織体制の中で考えねばならぬ。(2)については後から調べて返事をする。」

そして総務部長の答えは(3)(4)とも直ちに手配をしたい。」

又、四日市の谷口自治会長より

「四日市自治会館の竣工の御礼と、四日市山手線の早期完成を望む」と要望があった。

今回の対話集会は近年で最も実のある内容だったと思います。来年も町民の皆様方の御指導と御協力をお願い致します。

尚、3、4、5については、十二月社会教育委員会へ業者の見積書の提出をする運びとなりましたのでお知らせ致します。